

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

所管課		生涯学習課		担当班		社会教育施設班	
事務事業名	コード	41200 海上公民館活動費	予算科目	会計	款	項	目
	①	(海上公民館活動費) (講座)		一般	10	4	7
基本施策	12	生涯学習の充実	根拠法令	社会教育法、旭市民館の設置及び管理に関する条例、規則			
施策の展開	23	生涯学習機会の充実	戦略事業	122 生涯学習施設活動費			
施策の展開			戦略事業	123 生涯学習講座の開催			
						事業種別	
						☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 56 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	市民一人ひとりが、自ら学び自ら行動し、より良い生活や自己向上を高めるために、様々な学習機会を提供する事業。 ①各種講座・教室の開催:水彩画、ヨガ、陶芸、琴など。通年コースが多い。月1～2回2時間。定員15～50人程度 ②イベントの開催(海上公民館まつりなど)。	
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
社会教育法21条で「公民館は市町村が設置する」と規定。	開始当初は、他団体・民間等で同様の事業を行っている団体は少なかったが、最近は趣味的な内容の事業を他団体でも実施している。また、住民層の学習意欲や社会意識の多様化により、多人数構成の講座には無理が生じている。	・利用者アンケートでは「ほぼ満足している」方が多い。・講座受講者から、マンネリ化している講座の見直しをして欲しいとの意見あり ・利用者アンケートでは「地元の公共施設として無くてはならない身近な施設として不可欠である」との意見が他地域に比べて多い。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)		単位:千円	
1.報酬	144:公民館運営審議会委員報酬		
2.報償費	1,225:講座等講師謝礼		
3.需用費	1,190:消耗品、印刷製本費、燃料費		
4.役務費	494:通信運搬費(郵送)、手数料(折込)、保険料		
5.その他	36:使用料、負担金、旅費、備品購入費		
② 特定財源の内訳(29年度の決算)		単位:千円	
1.国庫支出金	0:		
2.都道府県支出金	0:		
3.地方債	0:		
4.その他	0:		

事業費	費目内訳	1.報酬	千円	54	150	132	144	234
		2.報償費	千円	1,030	1,071	1,090	1,225	1,301
		3.需用費	千円	1,432	1,051	1,125	1,190	1,197
		4.役務費	千円	807	502	478	494	566
		5.その他	千円	2,219	65	202	36	53
	事業費計(A)		千円	5,542	2,839	3,027	3,089	3,351
	財源	1.国庫支出金	千円					
		2.都道府県支出金	千円					
		3.地方債	千円					
		4.その他	千円	2,631				
5.一般財源		千円	2,911	2,839	3,027	3,089	3,351	

前年度増減理由	講座数は減少したが回数増加のため謝金が増加した。
---------	--------------------------

従事職員数	常時	6人	最大	人×	日=	延べ	0人
-------	----	----	----	----	----	----	----

前年度増減理由	講座数は減少したが回数増加のため謝金が増加した。
---------	--------------------------

従事職員数 常時 6 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

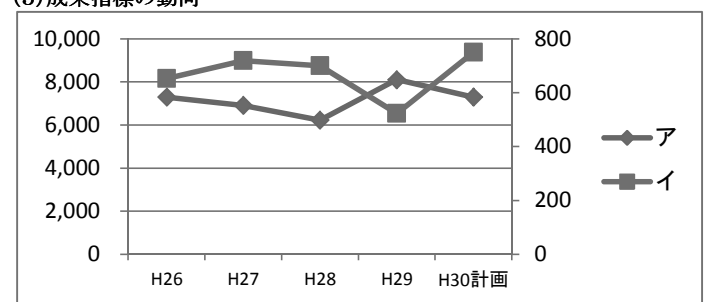
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動 29年度実績(29年度に行った主な活動) ・公民館報等により講座の募集や啓発活動に工夫する ・公民館まつり等主催事業の啓発に関して工夫・検討 ・講座の内容を精査・検討する。	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
			ア 講座等開設数	講座	30	36	34	32	34
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか) 対象 ・市民 意図 ・講座に参加し知識を身に付け、教養を高め、生きがいを見つける 対象意図	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
			ア 講座等(主催事業)参加人数(延べ人数)	人	7,293	6,903	6,230	8,103	7,300
			イ 生涯学習講座受講者数(実人数)	人	652	719	700	523	750

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある ② ある程度ある ほとんどない		下位 1/3 中位 1/3 上位 1/3
大きい		①	
普通		②	(2)
小さい		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		△6,056	△390	△673	1,873	△803
		△20	67	△19	△177	227
		③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)				
		時期	内容		今後の方向性	
		H30.5～H31.3	新規講座:おもしろ世界遺産、いきいき健康講座、親子リトミック、キッズわくわく教室、大人の塗り絵、脳トレ教室 新規主催事業:サマーコンサート、着ぐるみ人形劇、戦争体験談		☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	H30年4月より 講座を検討していく。 平成30年新規予定講座:大人の塗り絵を楽しもう・おもしろ世界遺産・いきいき健康講座